

論 文 概 要

九州工業大学大学院情報工学府 情報創成工学専攻

| | | | |
|------|----------------------------------------|----|-------|
| 学生番号 | 20275448 | 氏名 | 創成 花子 |
| 論文題目 | 修士論文の概要および表紙のスタイルファイル – その構成と利用方法 – | | |

1 はじめに

このファイルでは、平成 26 年度以降の修士論文概要スタイルファイルの使い方について説明する。

2 必要なファイル

概要作成に必要なファイルは、

`personal.tex` 個人データファイル
`abst.tex` 概要
`Alabst.cls` 概要クラスファイル

であり、また表紙作成に必要なファイルは、

`cover1.tex` 論文表紙
`cover2.tex` 論文中表紙
`spine.tex` 論文背表紙
`Alcover.cls` 表紙類クラスファイル

である。基本的に、概要や表紙の作成には、

`abst.tex`, `cover1.tex`, `cover2.tex`, `spine.tex`

をコンパイルすればよい。基本的には以下の 2 つのファイル

`personal.tex`
`abst.tex`

を加筆・修正することで、概要・表紙が作成できるようになっている。なお、表題を 2 行に分けたいときには、`personal.tex` の題目の改行位置に `\\` を挿入すること。

3 注意する点

本スタイルファイルで注意する点は以下の通りである。

1. 基本的に通常の LaTeX と同じように利用できる。ただし、パッケージは最低限のものしか入れていないので、必要に応じて `abst.tex` へ追加すること。
2. 見出しは `section` と `subsection` しか使えない。
3. `baselineskip` は変更しないこと。
4. 参考文献を加えてもよい。使い方は通常通りである。例えば、“LaTeX の参考書には [1, 2] がある。”

参考文献

- [1] 野寺隆志, 楽々LATEX (第 2 版), 共立出版, 1994.
- [2] 奥村晴彦, LATEX2 ϵ 美文書作成入門 – 論文作成から DTP まで自由自在 –, 技術評論社, 1997.

修士論文の書式について

1 論文の書式

論文は, A4 版で, コピー用紙程度の上質紙に印字すること. 書式は, 過去の修士論文を参考にし, 指導教員の指示を仰ぐこと.

1.1 使用言語

論文を記述するのに使用する言語は, 日本語または英語とする.

1.2 ページのレイアウト

製本その他読みやすさ等を考慮して, マージンは大きめにとること.

| | |
|-------|-----------------------------|
| 上マージン | 25mm 程度 |
| 下マージン | 30mm 程度 (ページ番号もマージン内に含む) |
| 左マージン | 35mm 程度 (製本の都合上 30mm 以上は必要) |
| 右マージン | 25mm 程度 |

1.3 文字の大きさ

読みやすさ等を考慮して, 極端に小さい文字や大きな文字はさけ, 行間は十分にあけること. 文字サイズ 11~12pt, 1 ページ 30 行で日本語の場合は 1 行あたり 40 文字程度が目安となる.

1.4 製本方法

提出する論文は創成事務室で配布するバインダを用いて製本する. (バインダは, 提出前に事前に受け取ること) ただし, 綴じ穴は製本の都合上 2 穴, 穴の位置は紙の端から 12mm とする.

バインダーの表紙および背に, `cover1.tex` および `spine.tex` を用いて作成した表紙, 背表紙を貼り付けること. また, 論文の最初のページに `cover2.tex` で作成した中表紙 (指導教員の押印が必要), 次のページに `abst.tex` で作成した概要 (この綴じ込む分については指導教員の押印は不要) を綴じ, それ以降に論文本体を綴じること.

1.5 提出について

提出についての詳細はメールを参照のこと.

修 士 論 文

論文題目

修士論文の概要および表紙のスタイルファイル
- その構成と利用方法 -

指導教員

工大 太郎 教授

九州工業大学大学院情報工学府情報創成工学専攻

修了年度 2014

学生番号 20275448

氏名

創成 花子

| |
|------------------------------------|
| 題目 |
| 修士論文の概要および表紙のスタイルファイル その構成と利用方法 |
| 年度 |
| 2014 |
| 氏名 |
| 創成 花子 |

修 士 論 文

修士論文の概要および表紙のスタイルファイル
－ その構成と利用方法 －

指導教員: 工大 太郎 教授

九州工業大学大学院
情報工学府 情報創成工学専攻

2014 年度

創成 花子